



書道研究 混陽会

会長 安居暢翰

令和3年度(二〇二一年)

書道研究・混陽会 活動方針

二〇二〇年は新型コロナウイルスが吹き荒れた年でした。有力書道展の中止・延期、書道教室の休講など大きな影響がありました。

混陽書道展は当初の会場を変更し、規模を縮小、マスク着用、検温、更に密を避ける事で開催されました。昭和五十五年から続きます書道展を途切れることなく続けることが出来ました。これは会員各位の英知と熱意の賜物と感謝申し上げます。

また、コロナ禍の活動として「書論」のメール勉強会を実施致しました。作品の構成編、字形の構造編、線質の構造編や鑑賞法編など計二十七便を配信させて頂きました。今年度は「観る力」を養成する勉強会、即ち、名作の結構、字形、線質、語群構成などに触れる勉強会を企画したいと考えています。

自粛生活はまだ自分続きそうですが「書」を通じて少しでも活気ある毎日が過ごせるようになればと願っています。

第62号

令和3年(2021年) 6月1日 書道研究 混陽会

〒524-0037 滋賀県守山市梅田町1-7 (守山駅西口から北へ約100m) URL: http://www.kouyoukai-sho.com/

編集人: 改発蒼風



1. 作品発表会

1-1 混陽書道展

例年通りの規模で開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などの諸事情により変更することがありますことをお含みください。

通常出品の他に好評を得ています「一字書」「全臨」は引き続き取り組むこととします。

●会期: 十月八日(金)〜十日(日)

【準備: 十月七日(木) 九時から】

●場所: 草津クレアホール・展示ホール

●出品: 混陽会員と教室会員全員

●授賞式: 十月十日(日)

2. 公募展

昨年は日本書芸院展、日展、県展、産経国際書展などは開催されましたが、読売書法展、毎日書道展などは中止・延期となりました。本年も混乱が予測されますが適切に対応し取り組むこととします。

2-1 日本書芸院展

2-2 読売書法展

2-3 日本美術展覧会(日展)

2-4 全国シルバー書道展・滋賀展

2-5 滋賀読売競書大会

3. 講座部

3-1 定期講座

平成七年から続けています次の講座は、実力を養成する基幹講座として継続します。

① 古典講座

② 古筆講座

③ 調和体講座

令和3年度 役員	
会長	安居 暢翰
師範	中川 翠玲
理事	伊部 芳翠
理事	中間 翠洸
事務局長	木村 香雪
理事	堤 篁雲
参事	山本 華泉
参事	古川 圭翠
参事	久田 萌玉
参事	下村 荘香
副理事	改発 蒼風
副参事	富田 蒼月
副参事	引間 京華
副参事	宮崎 恵舟
副参事	日下部 雅苑
副参事	木村 静宵
副参事	野口 虹翠
副参事	河野 翠風
副参事	山田 翠陽
副参事	織田 蒼雪
副参事	川田 幸洲
監事	武内 暢聲
参与	属 琴泉
参与	吉岡 浄香
参与	大島 祥鶴
評議員	寺井 妙香
評議員	蜂谷 煌翠
評議員	柴田 翠湖

3-2・勉強会

昨年、配信しました「書論」計二十七便は現在・将来とも必要な時に繰り返し学習して頂きますようお願いいたします。

今年度は「観る力」を養成する勉強会、即ち、名作を拡大し結構、字形、線質、語群の構成などに触れ、更に、感想を言葉にして表現する勉強会を企画したいと考えています。

4. 広報活動

4-1 機関紙「混陽」の発刊

会員に対する①行事情報の伝達、②書の技術情報の紹介、③書に対する意識や関心を喚起する記事などを中心に構成し充実を図っていくこととします。

以上

受賞者紹介

※学年は受賞時のものです

第十二回滋賀読売競書大会(二〇二〇年)

- 読売大賞 上田仁斗(小三)
- 大津市長賞 木村香雪(成人)
- 金賞 柳本知里(小二) 蒲田煌心(小四)
- 山本真緒(小五) 大北心春(小五)
- 小槻知優(小六) 児山織優(小六)
- 南中優衣(中一) 宮本結萌(中二)
- 銀賞(二十三名)
- 入賞(二六一名)
- 団体賞 混陽会

※二〇二〇年は、新型コロナウイルスの影響で、滋賀読売競書大会の作品展示、シルバー書道展、滋賀書作家協会展が中止となりました。

第十三回滋賀読売競書大会(二〇二一年)

- 金賞 古川圭翠
- 銀賞 中井蓮花・龍後遊汀・山川桐葉
- 奥山穂花(大学生)
- ※二〇二一年は、成人・大学生のみ出品
- ◎表彰式 令和三年四月二十五日(日)

第七十四回日本書芸院展(二〇二〇年)

- 特別賞 木村香雪・宮崎恵舟
- 準特別賞 木村静宵
- 特選 河野翠風・織田蒼雪
- 柴田翠湖・山川桐葉

第七十五回日本書芸院展(二〇二一年)

- 書芸院大賞 安居暢翰
- 特別賞 織田蒼雪
- 準特別賞 木村静宵・柴田翠湖
- 特選 河野翠風・橋本翠遊・山川桐葉
- 一科推薦賞 龍後遊汀
- 二科推薦賞 上田慧翹

読売紙上書道展(二〇二〇年)

- 一席 加藤歩夢(小六)
- 三席 榎本圭祐(小三)
- 佳作 大飼陽菜(小一) 福森芽衣(小一)
- 森みのり(小三) 柳本知里(小三)
- 大飼果穂(小三) 蒲田煌心(小五)
- 吉田治且(小五) 澤田 蕾(小五)
- 榎本結香(小六) 森田琉衣(小六)
- 西山千柊(小六) 中間裕仁(中二)
- 小牧桜夜(中三)

日展(二〇二〇年)

- 入選 中川翠玲

滋賀県美術展覧会(二〇二〇年)

- 入選 西村翠洋

生徒部八段位試験合格者

※学年は、受験時のものです

「生徒部八段位試験とは」  
日本習字生徒部の最高位です。試験内容は①実技試験、②理論試験、③作文(題は「わたしと習字」)合格すると「特待生」として、成人対象の手本(漢字部、ペン部)で学習出来ます。

【二〇一九年十一月実施】

- 中三 中村桃花 野洲駅前教室 硬筆
- 中三 深尾亜以佳 中村教室 毛筆
- 中三 安田 恵 蒲生教室 毛筆
- 中三 亀田涼美 蒲生教室 毛筆・硬筆

【二〇二〇年三月実施】

- 中二 宮本結萌 城北教室 毛筆
- 中二 宮本結生 城北教室 毛筆
- 中二 八木優歌 下豊浦教室 毛筆
- 中二 黒川莉心 彦根稻枝教室 硬筆
- 中三 谷元優稀 文英学院教室 硬筆
- 中三 深尾ひかる 中村教室 毛筆
- 中三 久城 雅 蒼風教室 毛筆

【二〇二〇年七月実施】

- 中二 田邊楓健 野洲駅前教室 毛筆
- 中三 前田佑香 彦根稻枝教室 硬筆

【二〇二〇年十一月実施】

中二	山本 凜	大萱教室	毛筆・硬筆
中二	南ゆず姫	野洲駅前教室	毛筆
中三	西尾愛美	石部教室	毛筆
中三	宮本結萌	松原教室	硬筆
中三	永井美玖	日吉教室	毛筆

おめでとうございます



◎合格されました方の中から二名の方の作文を掲載させていただきます。

「わたしと習字」

深尾亜以佳 中村教室

私は、小学三年生の頃から書道を始めました。上手く書け、褒めてもらうことが嬉しく、もっと上手になりたいと頑張ってきました。中学生になり、忙しくなるため書道を続けるかどうかとても悩みましたが、自分から好きだと思っ続けてきたものは他にありませんでした。また、両親も今やめてしまったら後悔するからと言ってくれたので、継続することにしました。

勉強や部活と両立して書道教室に通うのは大変な時もありましたが、書きたいと思う気持ちをしつかり持って通い続けてきました。今では、頑張ってきたことに良かったと思っています。

私にとって書道は、疲れた心を休めてくれるような大切なものです。全力で集中して取り組まないと良い作品を書くことが出来ません。それは書道だけでなく、勉強やスポーツでも同じだと思います。書道を始めた時は、八段昇段試験が受けられるとは想像していませんでした。ここまで一生懸命に取り組んできてこられたのは、小さい頃

頃から一緒に通い続けてくれた兄や姉、いつも見守り応援してくれた両親、一生懸命に書道の楽しさを教えてくださった先生のおかげだと思います。そしていつか、この経験を生かして書道を教えてくださった先生のように、私もたくさんの子供たちに書道の楽しさを教えられるような人になりたいです。夢に向かってこれからも書き続けていきたいです。

「わたしと習字」

宮本結生 城北教室

私は小学校一年生の時に習字を習い始めました。きっかけは姉が習っていて、自分もあんな風に文字を書いてみたいと思ったからです。

最初の頃は、書道教室に行っても疲れて寝ているだけだったと思います。しかし続けていくうちに級が上がっていくことが嬉しくなり、もっと上手く書きたいと思うようになりました。

習字を始めた時は、とりあえず文字を書けばいいと思っていました。

しかし、学年が上がるにつれてお手本を見て、どこに気をつけて書けばいいのか考えることが出来るようになりました。

また、集中力を保つことが出来なかったり、納得出来る字が書けなかったりする時期もありました。それでも出来るようになるまですること、続けることの大切さを学ぶことが出来たと思います。

さらに、習字を続けていくうちに、普段の字も丁寧に書けるようになりました。友達に「字がきれいだね」「そんな字書きたい」と言われることが多くなり、自信を持つことが出来ました。

これからは、さらに習字の技術を磨き、毎日書いている字が今よりも綺麗に書けるようにしていきたいです。そして、文字を大切にしていきたいような人になりたいと思います。

調和体講座 講師紹介

講師 川添翠湖先生へのインタビュー

○略歴

昭和四十年大津生まれ 岡田祖翠先生に師事  
平成二十三年日展初入選

現在、・日本書芸院一科審・読売書法展 幹事  
・滋賀書作家協会 理事

○書歴

高校生から現在まで  
小学生の頃も習っていました

○きっかけは…

高校で進路を考える時、書道専攻科のある  
大学を志望したから

○書道を続けて良かったことは…

指導する生徒さんが、書道を続けてよかったと  
感じてくれたこと

○大変だったことは…

いつも時間に追われていること

○先生より一言…

自分の好きな道を今日まで続けてこられたこと  
とを、師匠はじめ家族や書の先輩や友人に感謝  
しています。色々な出会いを大切に、この道を  
今後も続けていけるよう精進します。



川添先生ありがとうございます！  
今後ともよろしく願いいたします

# ■ 混陽書道展を開催致しました

【会期…二〇二〇年十一月二十七日(金)～二十九日(日)】  
【会場…守山駅前教室 及びあるてい】

二〇二〇年の混陽書道展は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、会場の変更、規模を縮小することとし、さらに会場での感染防止対策を徹底することで、無事開催することが出来ました。



## ◎定期講座(本年度講座内容)

### ■古典講座

昨年に続き、王鐸を学んでいます。本年度末には自分で漢詩を選文し、王鐸事典から集字し、自分で王鐸風の二八作品作りをしていく予定です。

### ■古筆講座

各自別々の課題に取り組んでいます。毎回その日の学習部分を練習し、一人ひとり添削指導を受けます。

臨書課題…「関戸本古今集」「石山切伊勢集」

「高野切第一種」

### ■調和体講座

毎回の課題の作品サイズは事前に決めてあり、先生に次回のお手本を書いていただきます。各自お稽古してきた作品五・六枚程度をホワイトボードに貼り、みんなの前で添削指導していただきます。

### 【編集後記】

久しぶりの機関紙です！  
今回は、今年度の活動方針と前号以後の活動報告が主な内容です。新型コロナウイルスの感染拡大により様々な活動が制限されるなか、皆様の活動をご紹介出来ることを嬉しく思います。  
手洗いや水分補給をしっかりとって、お体に十分お気を付けてください。(MK)